

第25回

2016年度

飛びだせ
小さな国際人

こども英語 コンテスト

暗
唱

- と き 平成28年 (2016年) **12月11日** (日) 午前10時～
- ところ 伊予鉄会館 (5Fクリスタルホール)



6つの課題文のパーチ校長の吹込みが聞けます。
コンピューターで「英語アカデミー」または
www.e8686.jp/を開いて、新着情報にこの文章と
録音が入っていますので、ご利用ください。
(11月14日から録音掲載してあります)

「英語文を暗唱すること」は英語学習では大変よい勉強となります。
上手下手などは関係なくまず参加してみませんか。
CDによる事前審査にて約10名程度を選出し、その方々には12月11日(日)に開催される「英語アカデミーこどもクリスマスパーティ」の中で併催される「こども英語コンテスト」で発表していただきます。人前で発表することも大変よい経験となります。
奮って参加されますようご案内致します。

出場者募集!

- 《応募資格》 愛媛県内在住の小学生 (オープン参加)
(但し英語が母国語の方、過去のコンテストで最優秀者だけは除きます)
- 《テマ》 低学年、高学年用の課題文を暗唱発表します。
- 《応募方法》 課題文 (低学年3点、高学年3点【裏ページ参照】) より一点を選び、CDまたはテープに吹き込んでご応募下さい。このテープを外国人教師により事前審査します。
- 《応募締切》 平成28年**12月2日**(金) **必着**
CD (またはテープ) を添えて英語アカデミーまでお申し込み下さい
松山市一番町2丁目9-6 ☎ (931) 8686
- 《賞》 最優秀賞 (1名)、優秀賞 (2名)
奨励賞 (最終審査出場者全員)
- 《主催》 英語アカデミー

2015年度
コンテスト優秀者

Thank you



- 第一位 客野葉夢 (番町小4年/SSクラス)
- 第二位 正岡虎太郎 (東雲小1年/SSクラス)
- 第三位 大西晃貴 (石井小1年/はなみずきInter Jr)
- 特別賞 原田怜士 (番町小3年/SSクラス)
沖綾真 (番町小2年/HK)
田中千文 (松前小4年/SSクラス)
真鍋寛輔 (新玉小5年/フジ上級)
- 奨励賞 高山亮太 (味酒小1年)、石川いろは (東雲小1年)、三枝侑矢 (湯築小2年)、黒河有琉 (石井小2年)、
滝岡比菜 (番町小3年)、永井直寛 (道後小3年)、稲住颯人 (味酒小3年)、宇都宮慧 (味酒小4年)、中井綾乃 (石井小4年)、佐伯花 (東雲小5年)、重松優作 (雄郡小5年)、田中四季 (松前小6年)

第25回 こども英語コンテスト (暗唱)

■ 小学校低学年 (1年～3年) 課題文

① Christmas Bells

Bells are a simple noisemaker. Long ago people used bells to shoo away evil. They thought in winter evil spirits would come. During the dark days, they held ceremonies to keep bad things from happening. And they waited for spring.

At Christmas people made noise because they were happy. In most villages there was a church with a bell. On Christmas, people would ring the bell. About 100 years ago at Christmas children often said, "Every time a bell rings, an angel gets his wings".

(85 words)



② The Gift

"Twas a glorious Christmas, all would agree,"
Mom thought as she sat adoring the tree.
The dishes done and the hordes tucked away,
She viewed the gifts she'd been given that day.

The crystal pitcher was a sight to behold,

That brand new cologne, a bracelet of gold,

Her gorgeous clothing she will love to wear,

A fancy red comb to adorn her hair.

She held in her hand, as tears filled her eyes.

Her favorite gift, from her child, age six;

A napkin holder of popsicle sticks. (96 words)

—Grandpa Tucker Copyright ©1996 by Bob Tucker より抜粋)

① クリスマスベル

ベルは単純(たんじゆん)な音を立てるものです。昔は悪霊(あくりょう)を追い払うのにベルを使いました。

人々は冬に悪霊(あくりょう)がやって来ると思っていたのです。冬の暗い時期には、悪(わる)い事が起こらないように儀式(ぎしき)を執(と)り行っていたのです。そして人々は春を待っていました。クリスマスには人々は嬉(うれ)しいので音を立てます。たいていの村ではベル(鐘かね)を備(そな)えた教会がありました。クリスマスの日には人々は鐘(かね)をならしたものです。およそ100年前にはこどもたちは次のように言いました。「ベル(鐘)がなるたびに、新しい天使(てんし)が生まれるのさ」。



② 贈り物

「とてもすばらしいクリスマスだったわ、だれもがそう思うことでしょう。」

ママは、すわってツリーを見上げながら思った。食事は終わったし、子供達はベッドに行ってしまった。ママはその日ももらった贈り物について思いをめぐらした。

クリスタルの水差しは必見のもの、真新しいオーデコロン、金のブレスレット、華やかな服、彼女はそれを喜んで着ることでしょう。そして、彼女の髪を飾ることになる飾りのついた赤いくし。

一つの贈り物が目立っていた。それが彼女にとって一番の贈り物だった。ママは一番気に入った贈り物、それは6歳になる自分の子供からもらったアイスキャンデーの棒で作ったナプキンホルダーだった。



2016年はミルンによって書かれた世界で愛読されている「ウィニー・ザ・プー（くまのプーさん）」の出版から90年という記念すべき年です。そこで今回はこの本から抜粋した一部を暗唱課題文としました。

③ Winnie-the-Pooh 1

Here is Edward Bear, coming downstairs now, bump, bump, bump, on the back of his head, behind Christopher Robin.

It is, as far as he knows, the only way of coming downstairs, but sometime she feels that there really is another way, if only he could stop bumping for a moment and think of it. And then he feels that perhaps there isn't.

Anyhow, here he is at the bottom, and ready to be introduced to you.

Winnie-the-Pooh! (80 words)

③ ウィニー・ザ・プー#1

エドワード・ベア（熊のプーさん）は、ドスン、ドスン、ドスンと階段を頭から降りてきています、大親友のクリストファー・ロビンの後から。

プーさんが知っている限りでは、それが階段を降りてくるたった一つの方法ですが、時々、少し頭をぶつけるのを止めて考えさえすれば、本当は他の方法もあるのではないかと感じるのです。それからそんな方法など多分ないなと考えるのです。

とにかく、クリストファー・ロビンは階段の下にいて、（この本を読んでいる）あなたウィニー・ザ・プーに紹介されるのを待っています。



■ 小学校高学年（4年～6年）課題文

④ Winnie-the-Pooh 2

Winnie the Pooh!

When I first heard his name, I said, just as you are going to say, "But I thought he was a boy?"

"So did I," said Christopher Robin.

"Then you can't call him Winnie?"

"I don't."

"But you said---"

"He's Winnie-the-Pooh."

Don't you know what 'ther' means?"

"Ah, yes, now I do," I said quickly; and I hope you do too, because it is all the explanation you are going to get.

Sometimes Winnie-the-Pooh likes a game of some sort when he comes downstairs, and sometimes he likes to sit quietly in front of the fire and listen to a story. This evening Christopher Robin wants a story. (112 words)

④ ウィニー・ザ・プー#2

ウィニー・ザ・プー、最初に彼の名前を聞いた時、ちょうど君が言おうとしていたように、「でも、彼は男の子だと思ったよ」と言った。クリストファー・ロビンが「僕もそう思った」と言った。「それなら彼のことをウィニーと呼べないかい?」「呼べないよ」「でも君は言ったね...」「彼はウィニー・ザ・プーだよ。ザってどういう意味だか知ってるの?」「ああ、わかった、今わかったよ」僕はすぐに言った。これ以上説明はしませんから、君もわかってくれればいいんだけどな。

時々、ウィニー・ザ・プーが下へ降りてくる時、彼はゲームのようなものが好きなんだ。そして時折、暖炉の前に静かに座ってお話を聞くのが好きなんだ。今晚は、クリストファー・ロビンがお話を聞きたいのです。



⑤ Santa and Grandpa

It's Christmas time, and attention goes
To the funny guy with his ho, ho, ho's.
Yes, we all know the reindeer story
And hear the tales of Santa's glory.
But this will pass, and soon over town
The decorations will be coming down.
They'll be put away until next year
When it's time again for Christmas Cheer.

So I am sticking with another old guy
And I'm writing this to tell you why.
Old Santa's great one day, it's true,
But Grandpa's here the whole year through.

We fish and Grandpa baits my hook,
If I ask him he will read my book.
He holds my hand when we take a walk

And he really listens when I talk.
So I truly love this dear old man,
Who sees me every time he can.

(134 words)—Grandpa Tucker

⑥ Dear Santa

Dear Santa, I'm fine and how have you been?
I feel it's about time to write to you again.

Our town has become a bright Christmas
scene,

With everything sparkling of crisp red and
green.

Now that I'm older I've found out some stuff.
I'd like some new things but I may have
enough.

They tell me that some kids don't have many
toys

And there's not enough food for some girls and
boys.

I've talked to my friends and we've pledged
that this year
We will all do our best to help spread your
cheer

We'll make someone smile who's been sad
Christmas Day.

Dear Santa, I love you. Your friend, Anna Mae.

(113 words)—Grandpa Tucker Copyright ©1999 Bob Tucker

⑤ サンタとグランパ (おじいちゃん)

クリスマスの時期となり、みんなの注目はあの「ホーホーホー」と言うおもしろい男の人に移ります。そうです、私たちみんなはトナカイの話を知っているし、サンタさんの栄光の話を聞きます。でもこのクリスマスは過ぎ去り、まもなく町中で飾り物が降ろされるでしょう。来年まで、クリスマスの歓呼(かんこ)の時期になるまで、飾り物はしまわれてしまいます。だからぼくはもう一人の年老いた男の人から離れないのです。じゃなぜそうするのか今から言いましょう。確かに年老いたサンタさんは一日だけはすばらしいのですが、ぼくのおじいちゃんは一年中ずっと一緒にここにいてくれます。一緒に魚釣りをし、おじいちゃんはぼくの釣り針にえさをつけてくれます。ぼくが頼めば本も読んでくれます。散歩をする時、ぼくの手をにぎってくれます。ぼくが話す時は一生懸命聞いてくれます。だからぼくはこの大切なおじいちゃんを本当に愛しています。出来る時はいつもぼくを見守ってくれるおじいちゃんをね。



⑥ 親愛なるサンタさんへ

大好きなサンタさん、私は元気だけどあなたは どうして
いますか?

また、あなたにお手紙を書く時期が来ました。全ての
ものが赤や青にピカピカ光って、町は明るいクリスマ
スの風景になりました。私は大きくなったので気がつ
いた事があります。新しいものが欲しいけど、私はも
う十分に持っているのかもしれない。あまりおちゃ
を持っていない子供がいると教えてくれる人がいます。
そして十分な食べ物がない子供たちもいると。私は友
達と話して、今年はサンタさんの励ましを 広めるお手
伝いをするために一生懸命やろうと皆で誓いました。
クリスマスの日に悲しい思いをしている人を皆で微笑
むようにしてあげよう。

サンタさん、大好きです。

